

一般質問



木佐木照男（新風会）
まちの創生について

問 空き家対策の現状は。

答 空き家問題が発生する前の啓発活動や相続が発生する際に住居の整理に関する認識を高めて頂くことが重要と考えています。

問 耕作放棄地の対策は。

答 農業の担い手を見つけ出すことに尽きます。市としては、農業の後継者や新規就農者に対する育成や支援、企業の農業参入誘致など、農地の有効利用に向けた施策を他の自治体も参考にしながら更に研究していきます。

まちの創生について

問 出生率を高める対策の現状は。

今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

答 結婚から妊娠、出産、育児の切れ目のない支援に取り組んでいることが、出生率を高める本質的な対策だと考えています。

問 子育て支援対策の現状は。

答 プレックス・キッズの活動を通して、充実した子育て支援対策を継続し、現在蓮田市に住んでいる方が蓮田市に住み続け、進学や就職で蓮田市を離れる若者がぶるさである蓮田市に戻りたい、と思えるよう取り組んでいきます。

まちの創生について

問 農業の6次化の現状は。

答 農業者が食品加工業者や農業協同組合等と連携して地域ビジネスの展開や新たな産業を創出する取組を進めています。

問 道の駅等の交流拠点の整備は。

答 道の駅「はすだ」推進事業として、農業や観光の活性化施設を整備すると

ともに、市の認知度や交流人口の拡大を図る為、道の駅の整備を検討していきます。

問 観光資源の開発状況は。

答 「蓮田ブランド推進協議会」をはじめとする団体等と連携、情報交換をしながら、引き続き、観光資源の発掘とPRに努めていきます。



山田慎太郎（はすだ政和会）
蓮田市総合振興計画に
関して

問 第5次総合振興計画についての現状は。

答 現在の第5次総合振興計画は、平成30年度から令和9年度までを計画期間としています。

答 総合振興計画は、市の将来像とその実現に必要な諸施策の方向性を定めるもので市の最上位の計画となります。計画策定後4年が経過し、225の主要事業の内、事業が終了しているものもあります。

問 第5次以降の取り組みは。

答 第5次総合振興計画の後期に向けた中間見直しを進め、今後、令和9年度までの間は計画に掲げた事業を着実に進め、市の将来像の実現に努めます。また、将来策定する第6次計画は、第5次計画の評価や課題の整理も糧として、蓮田市に住み、学び、働く方々の明るい未来の実現に向けたものとしていきます。

市内事業者育成に関して

問 今後の取り組みは。

答 埼玉県や他の自治体の運用状況を注視しつつ、最低制限価格のより適正な運用を研究し、実施していきます。

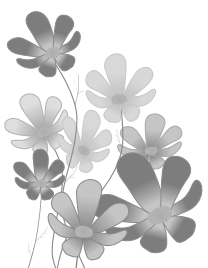
自治体DX化に関して

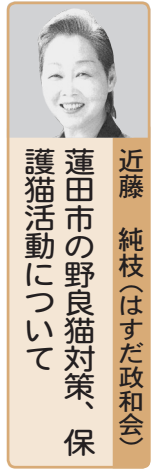
問 自治体の窓口オンライン化は。

答 行政手続きのオンライン化は、国の「自治体DX推進計画」の重点取組事項の一つです。令和4年度末を目標として、子育て関係、介護関係など、マイナンバーからマイナンバーカードを用いてオンライン化を進めること、とされています。蓮田市では、既に県内複数の自治体が共同で行っている電子申請サービスにより、子育て関係を含む、各種手続きのオンライン化を行っています。

問 今後の取り組みは。

答 蓮田市におけるDXのビジョン（基本方針）を掲げ、全職員が一丸となつてDXを推進していくことが重要と考えています。蓮田市のDX推進計画の策定に着手するとともに、各課が連携してDXの推進に取り組んでいきます。





近藤 純枝(はすだ政和会)
蓮田市の野良猫対策、保護猫活動について

問 野良猫問題の認識は。

答 野良猫に関する相談は、糞尿の被害、敷地内への侵入や道路の占拠、餌やりに関する住民同士のトラブルなどがありま。生活衛生に関する相談が多くあることから、地域における課題であると認識しています。

問 野良猫対策・保護猫活動の支援状況は。

答 令和2年度から県の補助金(埼玉県飼い主のいない猫の不妊・去勢手術推進事業補助金)を活用し、地域のTNR活動(捕獲し、不妊・去勢し、地域に戻す活動)を支援しています。

問 県からの補助金が終了した後の支援は。

答 活動の支援を継続できるように検討していきます。

※保護猫活動においては去勢手術後に、検査・ワクチン・マイクロチップ装着・人慣れ・しつけをして譲渡することができます。

高虫西部地区産業団地について

問 高虫西部地区産業団地内にある正御地遺跡と高都原遺跡の、埋蔵文化財の一部発掘に伴う今後の土地対応は。

答 区画整理事業に基づき整備した道路や公園等の公共施設用地は、将来、市に帰属し、市が管理をすることになります。

が、それ以外の土地は宅地となります。

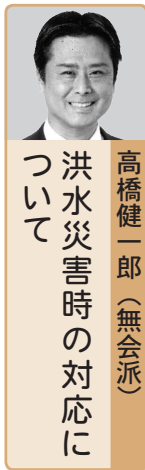
問 市街化編入への現状は。

答 市街化編入に向けて関係機関と協議を進めています。市街化編入に係る都市計画の変更手続きをし、市街化編入後に遅滞なく土地区画整理組合の設立認可を取得します。

問 汚水排水処理対策について。

答 当該地区の整備は市街化区域編入を前提としたもので、周辺の河川等の水質保全の観点からも公共下水道への接続ができるのが理想と考えています。

そのため、当該地区に近接する桶川市側にある、埼玉県流域下水道の処理場に地区内の排水を接続することができないか、現在、埼玉県と関係する市との協議を並行して進めているところです。



高橋健一郎(無会派)
洪水災害時の対応について

問 気象防災アドバイザーによる地域防災支援の活用を行うのはいかがか。

答 今後、熊谷地方気象台と連携を密にし、制度を利用する自治体から運用状況や導入効果を情報収集していきます。

問 市内での災害廃棄物の一時保管場所の候補地の選定について何う。

答 大きく4つの条件があり、1点目、作業空間を含めて約4ヘクタールの広さが必要。2点目、大型車両の出入り

のため一定以上の幅員の道路に接続している。3点目、災害時にも水没の危険がないこと。4点目、近隣に住宅が少ないことが挙げられます。候補地の選定及び周知を進めるよう努めています。

宿浦橋の人道橋設置について

問 人道橋の設計内容と、通学路としての様な安全対策を行っていくのか何う。

答 宿浦橋の東京側の幅員1mの歩道部分にアルミ製の上載方式による張出し工法で有効幅員2mの人道橋を築造します。高速道路用地内に人道橋を通行する児童・生徒の溜まり場を設けます。

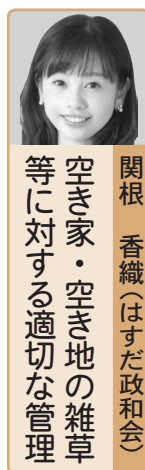


現在の宿浦橋

蓮田駅東口黒浜線の延伸について

問 進捗状況と用地取得の割合を何う。

答 今年度に入り黒浜小学校付近の一部の区間の道路築造工事に着手し、用地取得の割合は現在、約9割です。



関根 香織(はすだ政和会)
空き家・空き地の雑草等に対する適切な管理

問 空き家や空き地の雑草により、地域における衛生面や安全面の悪化が懸念される状況である。

答 このような状況下、昨年4月の民法改正により、雑草の除去を含む不動産に関する新たなルールが示された。

速やかに法改正の周知と市の条例整備を進めれば、来年の草木が生い茂る時期、毎年、被害に困っている市民や自治会の方の相談に対応できると思うが市長の考えはいかがか。

答 市の雑草除去委託制度について周知していきます。また、法改正の対応については、内部で検討していきます。

学校施設の改修・維持管理

問 小・中学校のトイレ改修について、令和4年度当初予算では、1校分の工事費のみの計上に留まり、設計に係る費用は計上されていないため、来年度の改修が進まない懸念がある。市の考えは。

答 令和4年度当初予算では、トイレ改修の設計に係る費用は計上していませんが、トイレ改修の優先度は高いと考えており、今後は緊急度などに応じて、早急かつ継続的に対応したいと考えています。

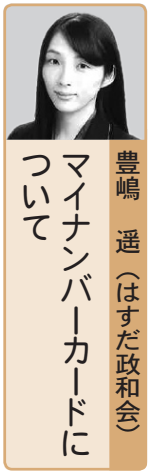
問 小・中学校の体育館へのエアコン設置については、昨今の気象状況や災害の頻度を考えれば早期に検討すべき課題である。

答 中学校の体育館では、夏休みの一歩暑い時期に多くの部活動が練習をしているが、まずは中学校への設置からでも検討してはいかかがか。

問 学校の実情を把握しながら、研究・検討します。

問 蓮田市の教育に係る予算状況を見ると、もう少し教育環境の充実を図って欲しいと感じる。これから来年度予算の作成が始まるが、市長の考えは。

答 私の公約に「教育施設の充実」を掲げていますので、今後の予算作成において、自分の思いを予算として投入していきたいです。



豊嶋 遥（はすだ政和会）
マイナンバーカードについて

問 蓮田市のマイナンバーカード交付率は。

答 令和4年8月末時点で交付枚数が2万7479枚、交付率は44・6%です。

問 マイナポイント第2弾について、10月以降のマイナンバーカード申請者向けに継続予定はあるか。

答 マイナポイント第2弾のマイナンバーカード申請期限が、令和4年12月末まで延長されました。

*マイナポイント申込期限は、これまで通りの令和5年2月末までです。

問 マイナンバーカードの申請サポートは、10月以降も継続予定か。

答 10月以降も継続予定です（終了時期は未定）。

問 マイナポイントの申込の設定支援は、10月以降も継続予定か。

答 10月以降も継続し、令和5年2月28日まで実施予定です（5か月延長）。

公共交通（バス）について

問 蓮田駅に、乗り場・運行情報をバス利用者に見やすくお知らせするための「デジタルサイネージ」を導入してはいかかがか。

答 市としてもデジタルサイネージの活用により様々な情報をフレキシブルに

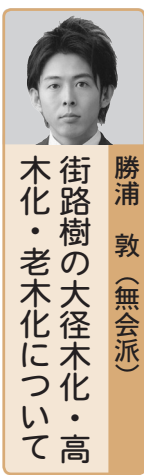
発信することができ、わかりやすいと考えます。

問 路線バスのターミナルとなっている蓮田駅改札口や駅前広場などへ設置するよう、他の事例を調査して検討していきます。

問 雨・風を防ぎ、快適にバスを待つことができるように、バス停留所に、現在、蓮田市役所前や西城三丁目などへ設置しているような上屋の設置を拡大してはいかかがか。

答 利用者の多いバス停などに設置を進める方向で考えており、現在、設置するための用地や歩道スペース、バスの乗降客数などの調査を始めています。

問 ※ほかに、蓮田市エンディングノートについて質問。



勝浦 敦（無会派）
街路樹の大径木化・高木化・老木化について

問 経済成長期以降、道路整備と共に、景観向上・緑陰形成・大気汚染の軽減等、環境への関心の高まりを背景として多岐に亘る機能を求められ、街路の緑化が行われてきた。

月日は経ち、街路樹の多くが成長し、大径木化・高木化・老木化による交通安全の阻害や、腐朽・枯損による倒伏、落葉等による市民負担増、景観上の問題等、様々な課題が顕在化している。樹木の成長に伴い、維持管理の需要や作業負担、管理費用は増える一方、労務単価や諸経費の上昇により、剪定本数など、各年度で対応可能な作業量

は減少傾向にあるが、実態及び課題を伺う。

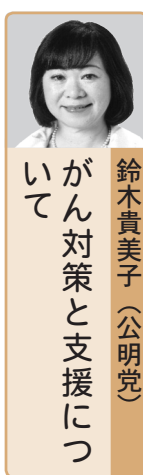
答 交通安全上の課題として、標識・街路灯・カーブミラー等の安全施設を枝葉が覆い、視認性が低下している事象や、根上がりによって歩道舗装に段差や変形が生じている事象があります。また、樹木が建築限界を越境し、車高の高い車両との接触事故等の危険性もあります。さらに、限られた剪定予算を効果的に執行するために比較的短く剪定をすることから、剪定直後は木が骨格だけとなり、景観を損ねるとい

う景観上の課題もあります。

問 現状の管理数量ありきではなく、樹種・樹木総量の適正化の検討に踏み込むべきと考える。全管理数量を対象とした再整備の検討及び、撤去・更新等も含む長期的な維持管理計画策定の必要性について、市長の考えを伺う。

答 多くの方より様々なご要望や苦情等を頂く案件で、今回の質問と指摘は大変重要であると思います。今後、庁内ですっかり計画を立て、住民を交え、合意をしながら管理をしていきます。

問 ※ほかに、将来人口推計と将来展望について質問。



鈴木貴美子（公明党）
がん対策と支援について

問 がんの早期発見・治療には検診の受診が重要である。新型コロナウイルス感染拡大の影響による受診率の低下が懸念されている。がん検診の重要性について、

今後どのように周知を強化していくのか。

答 40歳から69歳の方に対する再勧奨のはがきの文面等を工夫することにも、LINEなどのSNSのツールも活用して、周知を強化していきます。

問 アピアランス（外見）ケアとは、がんの治療による副作用で外見の変化（脱毛、身体の部分的な欠損）に対し、外見の変化を補完し、がん患者の苦痛を軽減するケアのことである。市としてのアピアランスケアについて、市長の所見は。

答 この職をお預かりして、公約でも掲げています。基準を設けて、市としての支援をしっかりと行っていきます。

難聴の高齢者への支援について

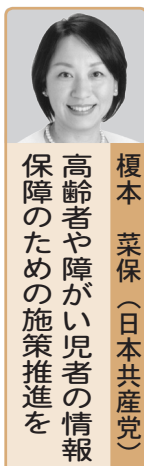
問 難聴を放置しておくことで、会話や社会的交流が減少し、うつや無気力、認知機能の低下やフレイル（虚弱）の進行につながる。「保険者機能強化推進交付金を活用し、介護予防事業と連動する形で、補聴器購入費用を助成するのはいかがか。

答 難聴と介護予防等の因果関係を示す検証結果を注視し、当市の介護予防事業の進め方について研究していきます。

高齢者の孤立防止のための見守りについて

問 コロナ禍が長期化する中、引きこもりがちで高齢者が増え、地域につながらない方への個々の対応を検討する必要があります。Webアプリケーションを活用した見守りサービスを導入するのはいかがか。

答 当市の実情に合った高齢者の孤立防止、日常的な見守りとなる対応策について研究していきます。



榎本 菜保（日本共産党）
高齢者や障がい児者の情報保障のための施策推進を

問 今年5月に策定された障害者情報アクセスビリティコミュニケーション施策推進法に基づき、ヒアリンググループ（※）を導入してはいかがでしょうか。

答 設置や導入を含め、引き続き検討します。

問 厚労省によれば、難聴は認知症の大きな危険要因とのこと。早期の補聴器利用で、生活の質の低下を防ぐことができるかとされている。加齢性難聴など、障がい者手帳を持たない軽度・中等度の難聴者へも、補聴器購入への補助をすべきではないか。

答 補聴器購入の補助については、他の自治体の動向を注視していきます。

問 市内ボランティアグループが「声の広報はすだ」や「選挙公報音声版」を製作し、視覚障がいの方の助けとなっている。録音する部屋が防音ではなく、外からの生活音で何度も録り直しになるとのこと。33年も前から録音室の整備が要望されているが、防音対策を施すべきでは。

答 市にある他の防音施設も利用しながら、今後も視覚障がいの方へ、市の情報を丁寧届けてほしいと考えています。

問 まち全体の脱炭素化に向けた具体的な取り組みを

答 脱炭素化に向け、目標年度まではあと8〜28年のため、今から建築・

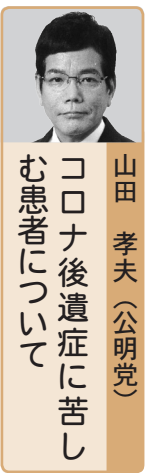
改修するものを省エネ仕様にしていくことが重要。国交省の『住宅エコリフォーム推進補助金』や『住宅・建築物省エネ改修推進交付金』の活用で、省エネ推進を図る考えはあるか。

答 今後、研究していきます。

問 再築する環境学習館等、公共施設への太陽光発電設備の設置は。

答 施設の新設または再築等の機会には、関係各課と調整していきます。

問（※）ヒアリンググループ：難聴者の聞こえを支援する設備。マイクを通して音声を直接補聴器や人工内耳へ伝えることができ、周りの騒音や雑音に邪魔されずに目的の音声だけを正確に聞き取ることができる。



山田 孝夫（公明党）
コロナ後遺症に苦しむ患者について

問 児童・生徒のコロナ後遺症の現状は。

答 市内小・中学校において後遺症の報告は、小学校0名、中学校2名です。

問 後遺症の支援・サポートは。

答 校長会を通して、該当の児童生徒が安心して治療に専念できる体制の構築と、保護者の皆様に安心して頂けるよう対応したいと考えています。

問 周知・啓発は。

答 後遺症に苦しむ方々に向け、広報はすだ、県作成のリーフレットを用いて周知・啓発を徹底していきます。

蓮田駅ロータリーの点字ブロックについて

問 点字ブロックを安全に利用するため、路面標示等注意喚起の必要性は。

答 点字ブロックへの注意喚起は大変重要なことと考えています。ペイント式の路面標示等の手法を含めて、研究していきます。

問 バス待ちの列と点字ブロックの間隔を広くできないか。

答 点字ブロックの設置について、調査研究を行い、よりよい在り方について考えていきます。



蓮田駅ロータリーの点字ブロック

投票率向上について

問 主権者教育の一環として「親子連れ投票推進」はいかがか。

答 将来の投票参加に効果的と考えており、機会を捉えて主権者教育の一環として、親子連れ投票の啓発を検討していきます。

問 平野エリアの期日前投票所の設置の考えは。

答 現時点では、職員の配置状況から難しいと考えています。

問 西口行政センターでの期日前投票の時間延長は。

答 何らかの対応が必要と考えており、延長に向けて選挙管理委員会ですらに検討していきます。



齋藤 齊（無党派）
民生委員・児童委員の待遇について

問 自治会の組織率について50%割れに近い中、仮に45%、40%となったら自治会は機能不全に陥り、自治会自体の解散・消滅も相次ぐことが予想される。民生委員・児童委員候補者を自治会長が推薦することはできず、現在のシステムは崩壊しており、現時点での民生委員・児童委員のなり手不足の深刻さはその前触れかと考える。民生委員・児童委員のなり手不足の具体的対策を問う。

答 現在の民生委員・児童委員にも協力を得ながら、引き続き自治会長と共に人材発掘、欠員地区の解消に努めて

いきます。

問 地域社会の福祉を支えている民生委員・児童委員の活動は、社会奉仕であり給与は支給していない。ただし、活動費として支給する年間6万2000円は、その活動に比べて待遇として現況適正か。

答 当該活動費補助金は、蓮田市民生委員・児童委員協議会活動費等補助金交付要綱に基づき、また埼玉県の民生委員及び児童委員活動費等補助金交付要綱と同額の補助金を算出しています。民生委員・児童委員の活動を促進し、地域社会の福祉を増進するため、市の関係部署と連携しやすい環境を整えると共に活動費補助金の金額についても、近隣市町の状況も見ながら研究したいと考えています。



栗原 勇（日本共産党）
宿浦橋人道橋設置を早く

問 通学路で子どもたちが巻き込まれる交通事故が後を絶たない。子どもたちの命を守るのは大人・社会の責任である。

答 宿浦橋人道橋は、張出方式であれば、市単独事業として進めることも可能となった。今後の課題としての債務返済機構（高速道路を保有する）との協議内容はどのようなことか。

答 協議内容は、資産を借り受けるために面積・場所・安全対策等です。事前にネクスコ東日本と協議しており、

それに基づいて協議します。その過程で指摘事項があるかもしれません。

問 様々な設計の進捗状況は。

答 張出方式の橋の設計は済んでいますが、歩行者の安全、人道橋の安全のための二重の柵の設計も済んでいます。

問 実際の橋の架設の工程については、今後ネクスコと協議を進めます。施工時期については、年末年始、ゴールデンウィークは避けなければなりません。一部、高速道路車線規制をする可能性もあります。今後、予算としてはどのようなことが考えられるか。

答 市道一号線の安全対策、通学路の安全対策、工事費等の予算計上が考えられます。

問 宿浦橋人道橋の見直しについて、市長の考えは。

答 事業が目に見えてきています。市単独事業として進められます。子どもたちのために一日も早くできるように積極的に取り組み、予算もつけていきます。

問 ※ほかに、気象危機（気温上昇）から命を守るために、高齢者世帯にエアコン設置の補助を求める質問。

答 蓮田市は県内でも高い高齢化率となっており、ご家族のみでの認知症対応



深田 康孝（日本共産党）
蓮田市の認知症者の相談機関について

問 蓮田市は県内でも高い高齢化率となっており、ご家族のみでの認知症対応

応にも限界がある。認知症は治すのが難しい病気であるが、早期に発見し適切な対応によって症状の進行を抑えることも可能だとされている。こうした認知症者への相談機関の状況は。

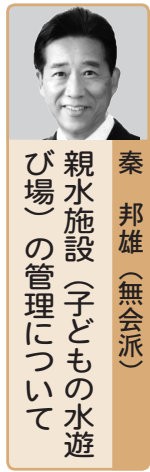
答 認知症になっても、できる限り住み慣れた自宅で安心して暮らし続けられることを目指して、症状に合わせたケアの流れ（認知症ケアパス）と様々な医療・介護サービスやその他の支援などの情報をまとめた冊子として、毎年度、内容を更新しながら作成している「蓮田市認知症ケアガイドブック」があります。掲載相談機関として、地域包括支援センターに「認知症ケア相談室」を設置し、また認知症状態でお困りの場合、医療と介護の専門職で構成された「認知症初期集中支援チーム」がご自宅を訪問して対応を行っています。

介護事業所での、緊急時の対応と運営基準

問 新型コロナウイルス感染症拡大によって市内の介護事業所でもクラスターが発生し、埼玉県クラスター対応専門チームの派遣を受けた介護事業所もあった。平時から人員不足では緊急時には致命的であることが明らかになった。コロナ禍で、市内の介護事業所では、現状の運営基準で機能していたのか。

答 国が定めた運営基準は、新型コロナウイルス感染症拡大のような災害時に対応したものとはなっており、施設運営に支障をきたす可能性があります。今後、災害に対応した運営基準の見直しが必要と考えます。





秦 邦雄（無党派）
親水施設（子どもの水遊び場）の管理について

問 親水施設の稼働状況は。

答 根ヶ谷戸公園は今年の8月に稼働しました。西城沼公園は令和元年度以降、また綾瀬せせらぎ公園は平成6年度開設以降の数年間を除いて稼働していません。

問 せっかく造った親水施設が無駄にならないよう、今年稼働しなかった施設を稼働させる、更に7月も稼働させるべきと考えるがいかがか。

答 西城沼公園の施設を稼働するためには高額な予算が必要ですが、子どもたちの笑顔を見たいとの思いもありますので、検討したいと考えます。

建設工事費の高騰への対応等について

問 環境学習館建設工事の入札が遅れている理由は。

答 建設価格の上昇など様々な調整が必要のため、当初予定した7月までの入札を延期し、調整しているところであります。

問 今後のスケジュールは。

答 諸課題について総合的に調整し、環境学習館として期待される機能を維持できるように、引き続き検討していきます。

問 パルシー大規模改修・サブアリーナ建設事業のうち、パルシー大規模改修の設計・施工を前倒しすることはいかがか。

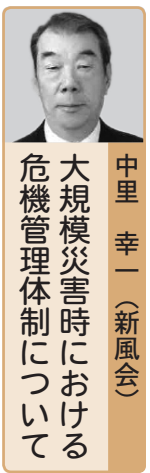


根ヶ谷戸公園の親水施設

答 本事業では、パルシー大規模改修の占める割合が大きく、工事を前倒しすることは難しいと考えます。ただ、前倒し執行は有効であると考えるところから、今後関係課と調整したいと考えます。

問 本事業において利用者が期待している機能を損なうことなく、費用を少しでも抑えることは市の責務である。今後予期せぬ判断をせざるを得ないことが起こるかもしれない。市には建設費高騰への対応策のプロセスについて市民への説明責任があると考えますが、市の考えは。

答 今年度中に色々と決断しなければならぬものと考えていますし、その判断は重いものと考えています。



中里 幸一（新風会）
大規模災害時における危機管理体制について

問 近年、暴風雨による災害が多数発生しているが、蓮田市で想定される大規模災害の主な要因は、関東平野を震源とする地震である。災害対策本部の設置基準は。

答 震度5強の非常体制の段階で災害対策本部を設置します。

問 人員については市長以下所定の職員で構成し、震度6弱で全員参加します。対策本部は市役所201会議室に設置し通信機器を持ち込み本部機能を整えます。

問 災害時の停電対応は。

答 現在リースで対応している市役所の自家発電装置を本年度36時間稼働できるものを契約し、設置予定です。

問 避難時の対応について、避難場所と収容人数及び備蓄品の種類と数量は。

答 発災1日後2995人と想定しています。

問 避難場所は27か所、主な備蓄品についてはアルファ米2万5100食等3日分以上を確保しています。その他、生活必需品についても毛布類約8000枚等を用意しています。

問 生活必需品については消費期限が無いため、少量ずつ備蓄を進める考えは。今後もしも安心安全を図るよう検討の上備蓄を進めていきます。

問 避難時に必要と想定される機材と準備については。

答 断水時の給水体制は、市役所敷地内と駅西口広場に60mの耐震型貯水槽と浄水器を備えてあります。停電時の電源については、施設にある自家発電機のほかソーラーパネル付き蓄電池、電源機能を有する庁用車などで電源を確保します。

問 庁用車は日常では庁務で使用し、災害時には電源として利用できる長所があると考えますが、今後の導入予定は。

答 今後、契約更新時には導入して行くよう予算化を進めていきます。

問 体調不良者に対する対策は。

答 衛生対策を充実すると共に、必要に応じ救護所を設置します。

月 日	会 議	人数
8 / 30	本会議(開会)	3
9 / 5	本会議(議案質疑)	0
9 / 6	本委員会(総務)	1
9 / 7	本委員会(民生文教)	1
9 / 8	本委員会(建設経済)	1
9 / 9	本委員会(総務)	0
9 / 12	本委員会(民生文教)	1
9 / 13	本委員会(民生文教)	0
9 / 14	本委員会(建設経済)	0
9 / 15	本委員会(建設経済)	0
9 / 20	本会議(一般質問)	6
9 / 21	本会議(一般質問)	10
9 / 22	本会議(一般質問)	5
9 / 29	本会議(閉会)	2
合 計		29人

9月定例会傍聴状況

12月定例会は

11月30日(水)

開会の予定です